

# 平成22年度病院事業会計の決算見込み

平成23年8月11日  
千葉県病院局  
経営管理課  
043(223)3959

平成22年度病院事業会計の決算見込みがまとまりました。

収益合計は、414億1,200万円、費用合計は、402億8,600万円で、この結果、当期の純利益は、前年度より19億200万円改善して11億2,600万円となり、病院事業として平成5年度以来17年ぶりに黒字を確保しました。

なお、総務省の公立病院改革ガイドラインに基づいて策定した「千葉県立病院改革プラン」で見込んだ黒字化を、3年前倒しで達成しました。

## 1 黒字化の主な要因

入院患者数が4.1%、外来患者数が3.2%増加した。

診療報酬改定や高度医療の充実などにより、入院単価が57,033円から60,118円となり、3,085円（+5.4%）増加した。

外来単価が17,693円から18,020円となり、327円（+1.8%）増加した。

薬品や医療器機の共同購入の拡充や委託内容の見直しなどにより、材料費や経費の抑制に努めたことにより、医業費用の伸びを2.9%の増にとどめた（医業収益は8.2%の増）。

## 2 収益増の大きい病院

こども病院、佐原病院の入院・外来収益、がんセンター、救急医療センターの入院収益が特に増加した。

## 3 収支の前年度比較表

(単位：千円)

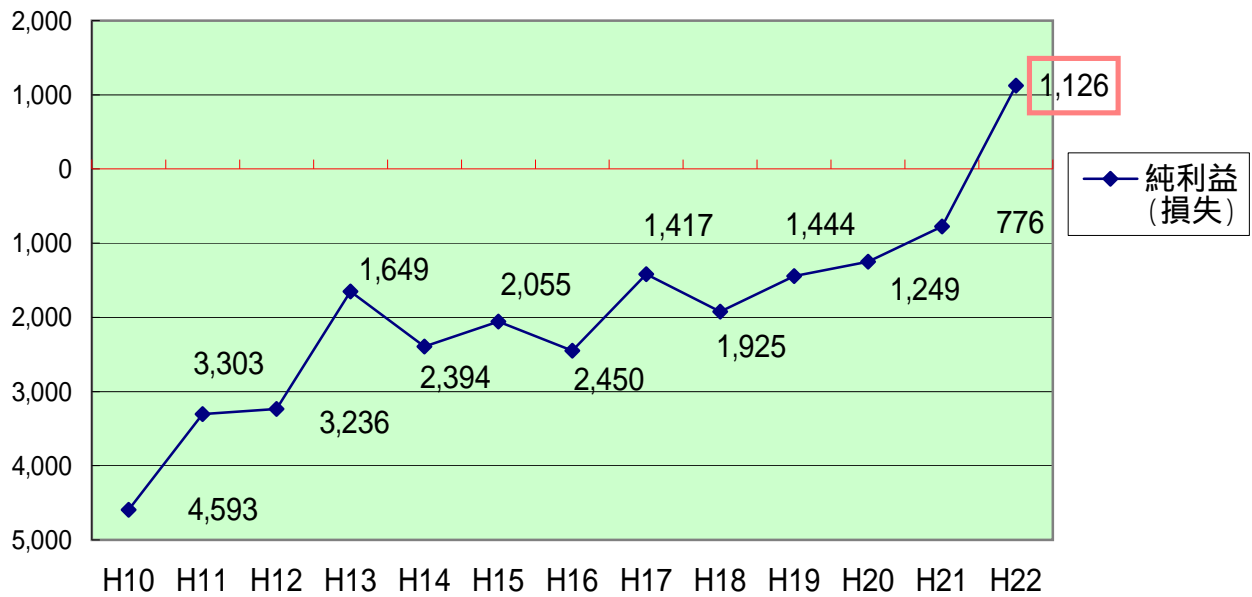
区 分	平成21年度	平成22年度	増 減 額	増減率 (%)
医 業 収 益	28,279,881	30,604,290	2,324,409	8.2
医 業 外 収 益	10,144,036	10,808,235	664,199	6.5
うち負担金交付金	9,687,200	10,286,237	599,037	6.2
特 別 利 益	106	0	106	皆減
<b>収益計</b>	<b>38,424,023</b>	<b>41,412,525</b>	<b>2,988,502</b>	<b>7.8</b>
医 業 費 用	37,399,799	38,497,629	1,097,830	2.9
うち給与費	19,626,144	20,319,078	692,934	3.5
医 業 外 費 用	1,800,243	1,788,799	11,444	0.6
<b>費用計</b>	<b>39,200,042</b>	<b>40,286,428</b>	<b>1,086,386</b>	<b>2.8</b>
<b>純利益（損失）</b>	<b>776,019</b>	<b>1,126,097</b>	<b>1,902,116</b>	

## 4 患者動向

平成22年度の延入院患者数は4.1%増加、新入院患者数は4.3%増加、また、延外来患者数は3.2%増加、新外来患者数も4.2%増加している。

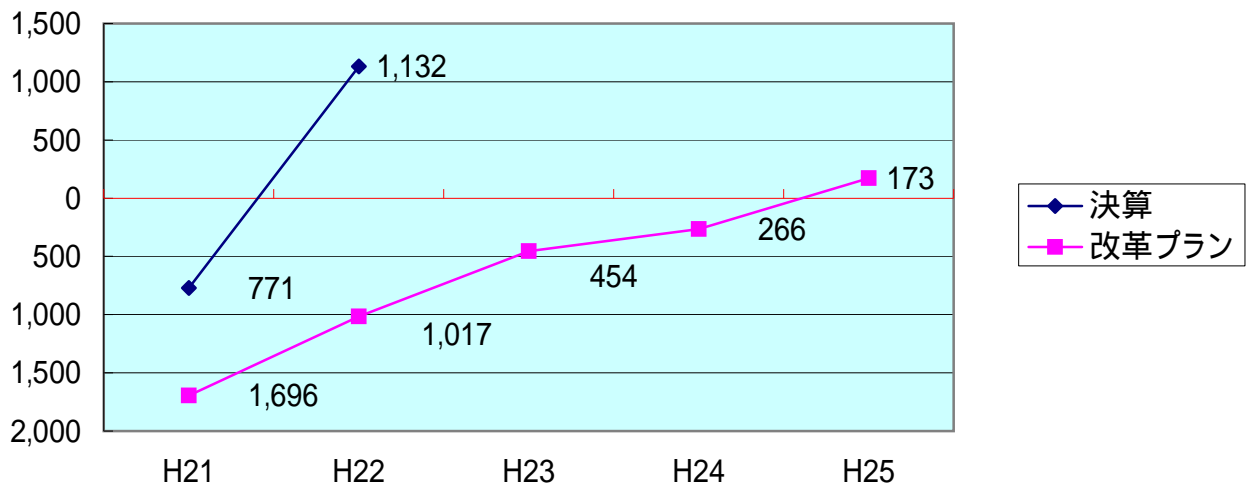
区 分	平成21年度	平成22年度	増 減	増減率 (%)	
入院	延患者数(人)	339,094	352,945	13,851	4.1
	新患者数(人)	21,411	22,329	918	4.3
外来	延患者数(人)	484,022	499,635	15,613	3.2
	新患者数(人)	41,198	42,912	1,714	4.2

純利益(損失)の推移(単位:百万円)



純損失が最大だったのは平成10年度の45億9千3百万円です。

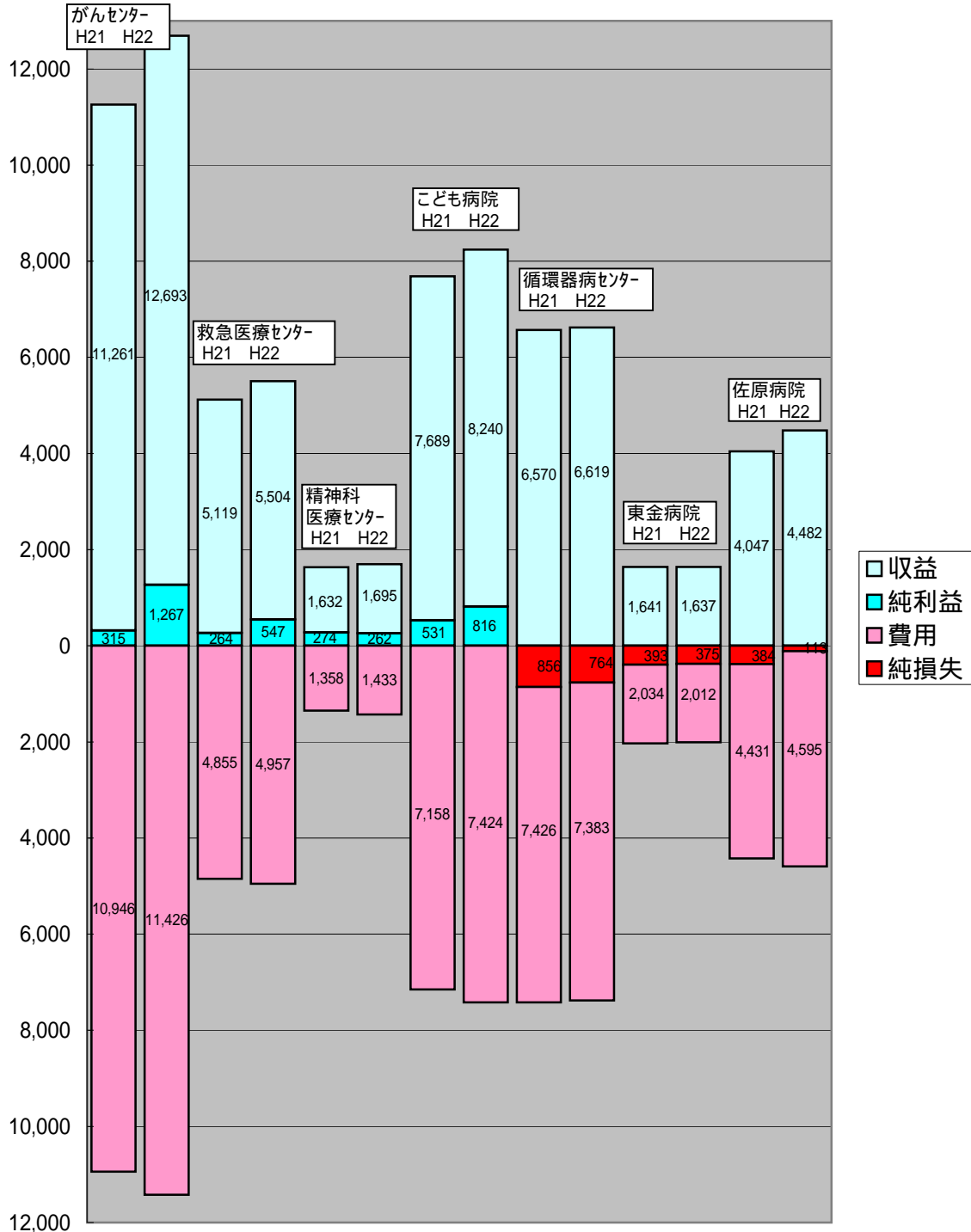
「千葉県立病院改革プラン」と決算との比較(単位:百万円)



「千葉県立病院改革プラン」は税込みで作成のため、決算値も税込金額です。

## 病院別損益の前年度比較（単位：百万円）

がんセンター	救急医療センター	精神科医療センター	こども病院	循環器病センター	東金病院	佐原病院
改善額 +952	+283	12	+285	+92	+18	+271



がんセンターは、医師・看護師の増など診療体制の充実による入院患者数の増等で収益増。  
 救急医療センターは、救急受入要請の増加による入院患者数の増等で収益増。  
 こども病院は、病床運用の改善（病棟間での融通やベッドコントロールの強化）や手術数の増加などで収益増。  
 佐原病院は、内科医師の増員（4名 7名）等診療体制の充実により患者数が増え（入院+5.8%、外来+7.3%）、収益増。

